

平成23年6月28日

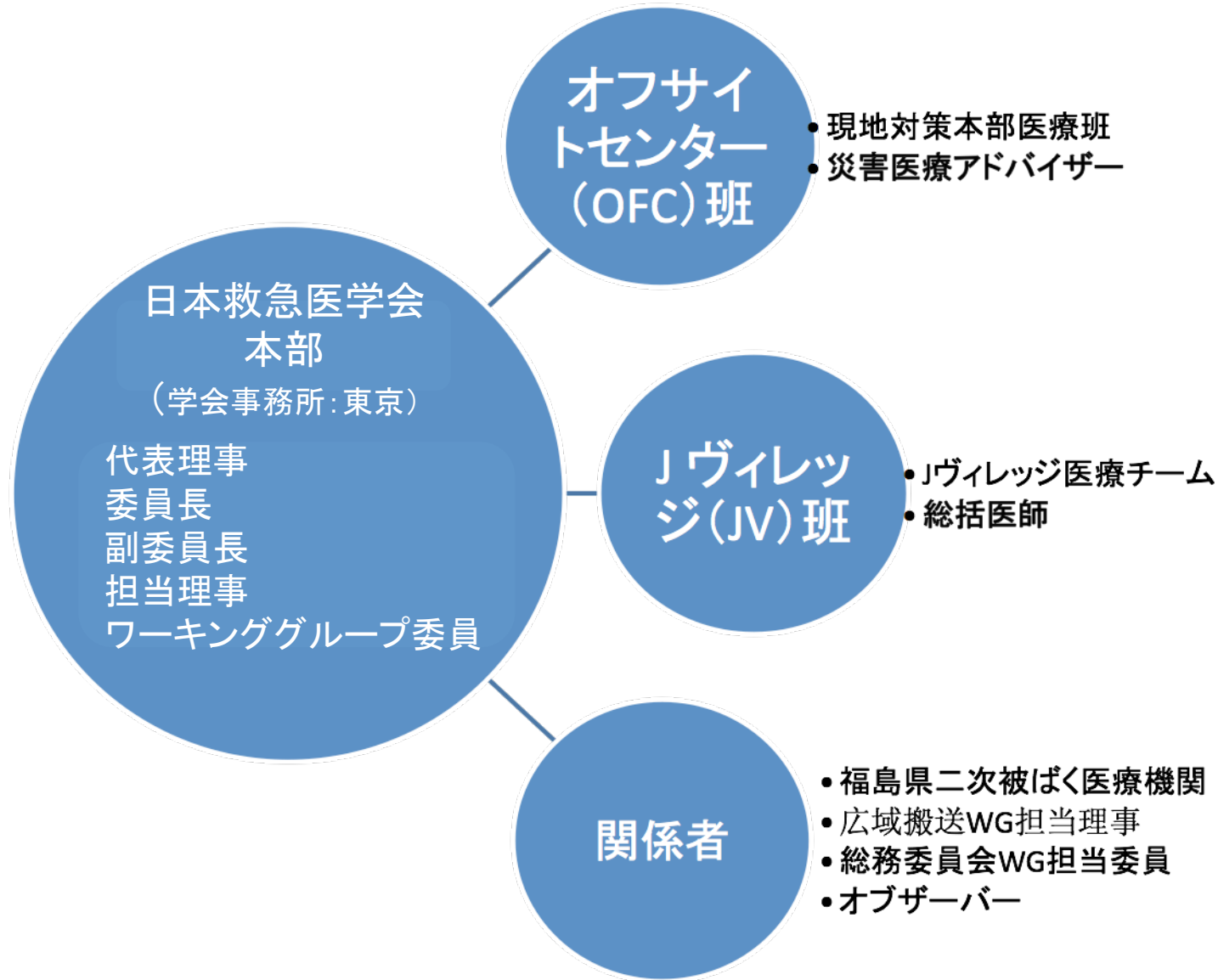
福島原発事故緊急ワーキング グループの組織と機能

一般社団法人日本救急医学会



福島原発事故緊急ワーキンググループ

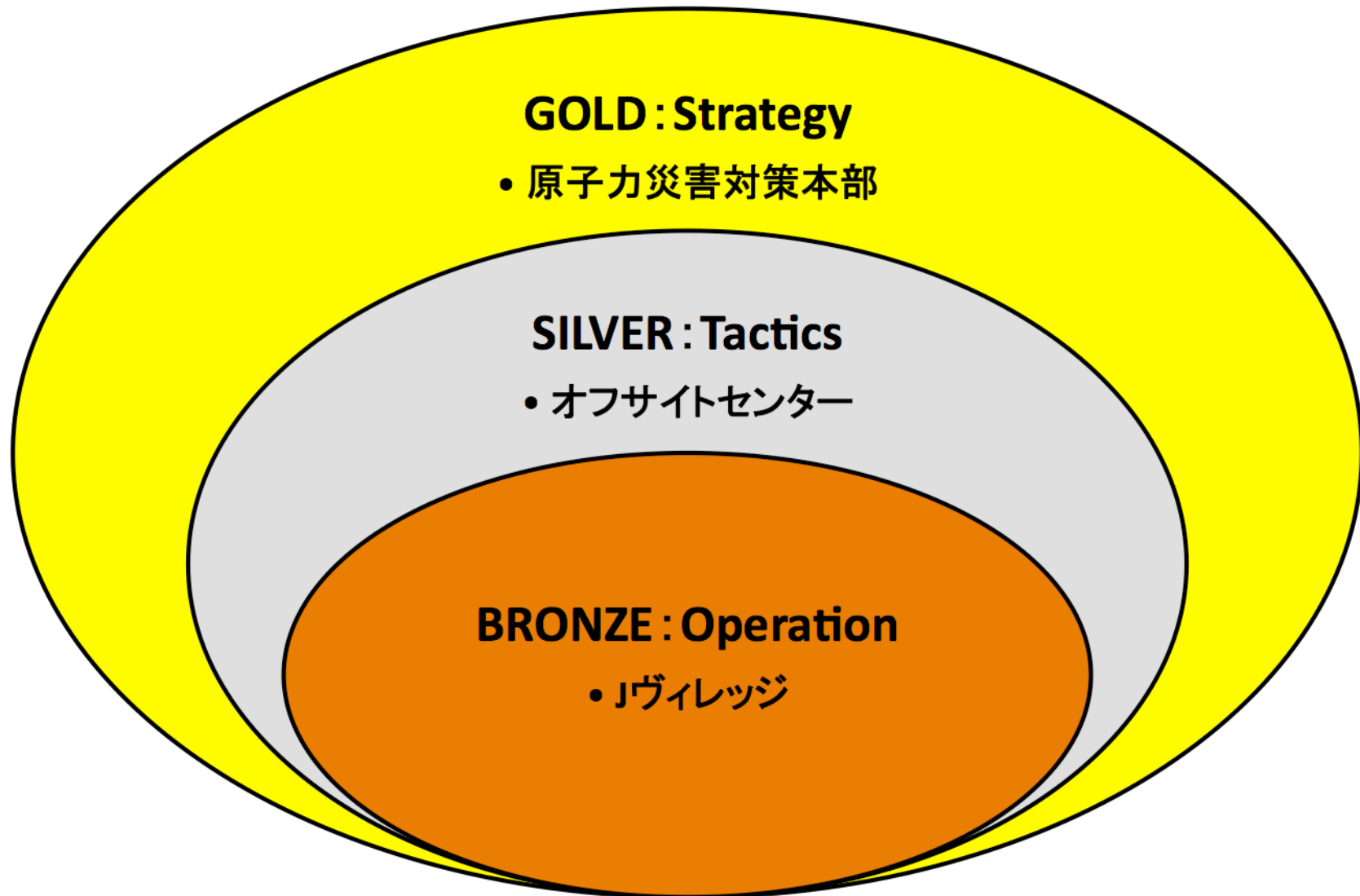
JAAM-FNPPA(Fukushima Nuclear Power Plant Accident)-WG

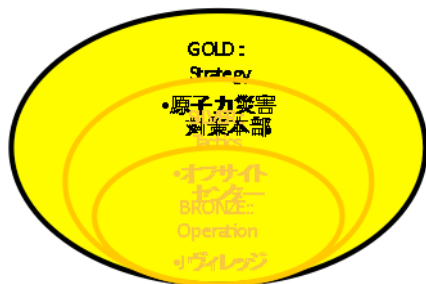


福島原発事故緊急ワーキンググループ

- 委員長：山口芳裕(杏林大学)
- 副委員長：小井土雄一(災害医療センター)
- 担当理事：坂本哲也(帝京大学)
 - 委員：森村尚登(横浜市立大学)(OFC班長)
 - 委員：大友康裕(東京医科歯科大学)
 - 委員：近藤久禎(災害医療センター)
 - 委員：嶋津岳士(大阪大学)
 - 委員：浅利 靖(弘前大学)(Jヴィレッジ班長)
 - 委員：郡山一明(原子力安全研究協会)
 - 委員：阪本雄一郎(佐賀大学)
 - 委員：谷川攻一(広島大学)
 - 委員：西山 隆(愛媛大学)
 - 委員：田勢長一郎(福島県立医大)

指揮階層





原子力災害対策本部組織体制

原子力災害対策本部：設置場所：官邸

事務局：原子力安全・保安院ほか：設置場所：経済産業省緊急時対応センター（ERC: Emergency response center）

総括班

医療班

住民安全班

放射線班

プラント班

広報班

福島県内の被ばく医療に係る主な機関



O. オフサイトセンター(OFC)

司令塔機能

- ・傷病者の数、状態等の把握
- ・搬送方法の調整
- ・搬送先の調整

F1. 福島第一原発 (医師1名)

被ばく・外傷の可能性ある作業者

J. Jヴィレッジ

救急搬送の拠点

- ・重症度に応じて患者の振り分け
- ・必要に応じて除染

M. 福島県立医大

県内被ばく医療の拠点

- ・2次被ばく医療機関
- ・外傷患者にも対応可能
- ・10人まで可能(重傷は2人程度)

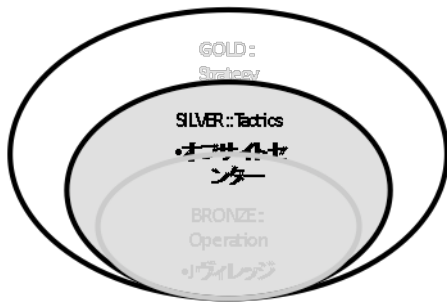
広域搬送(3次被ばく医療機関)

放射線医学研究所+協力病院(6)

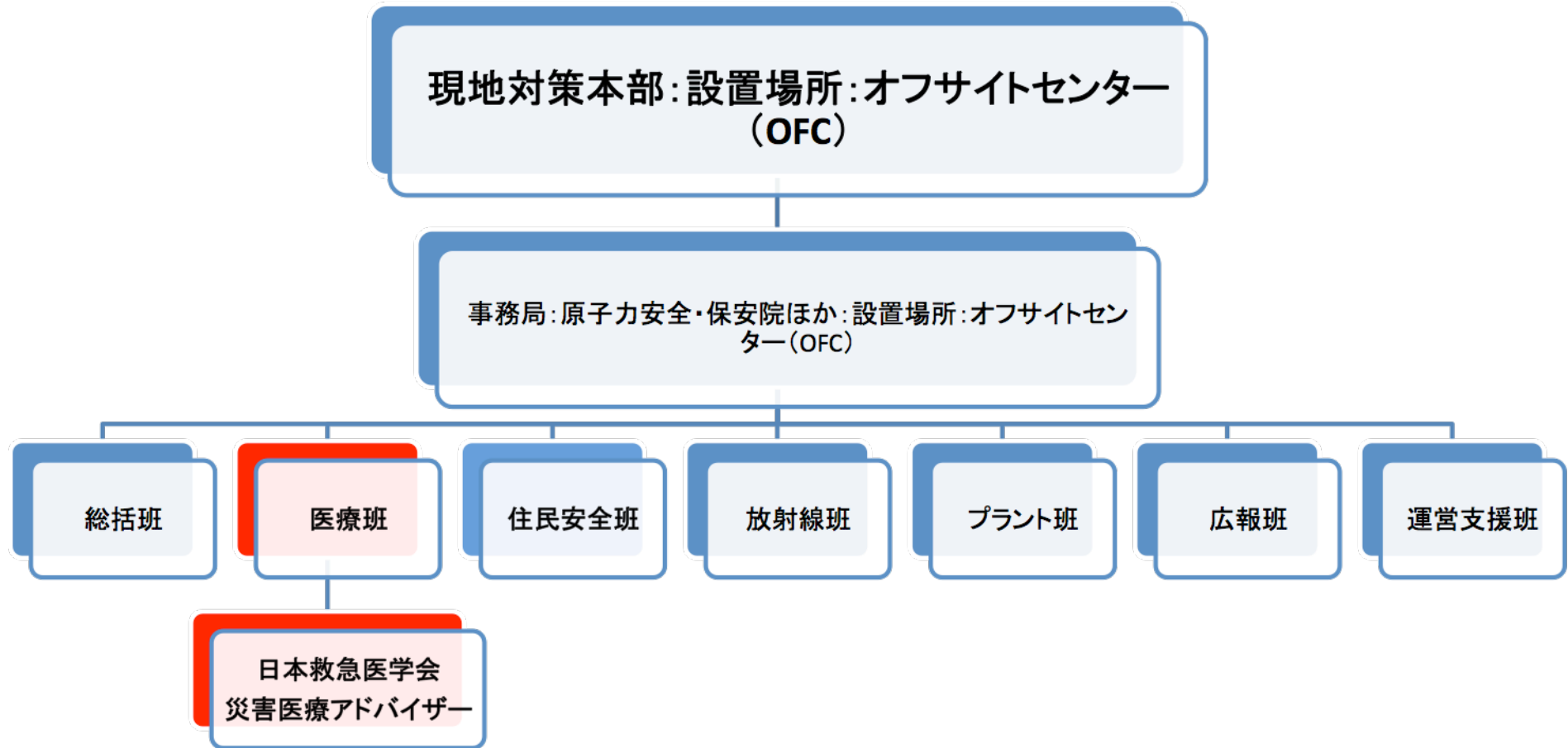
- ・50名受入可能

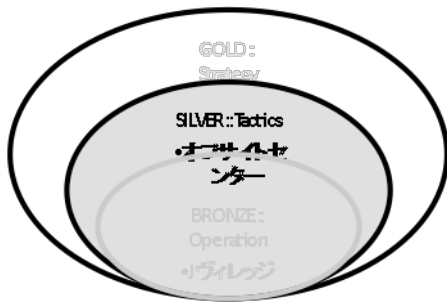
広島大学+協力協定病院(6)

- ・重症10名、中等症11名受入可能
- ・外傷患者の対応可能

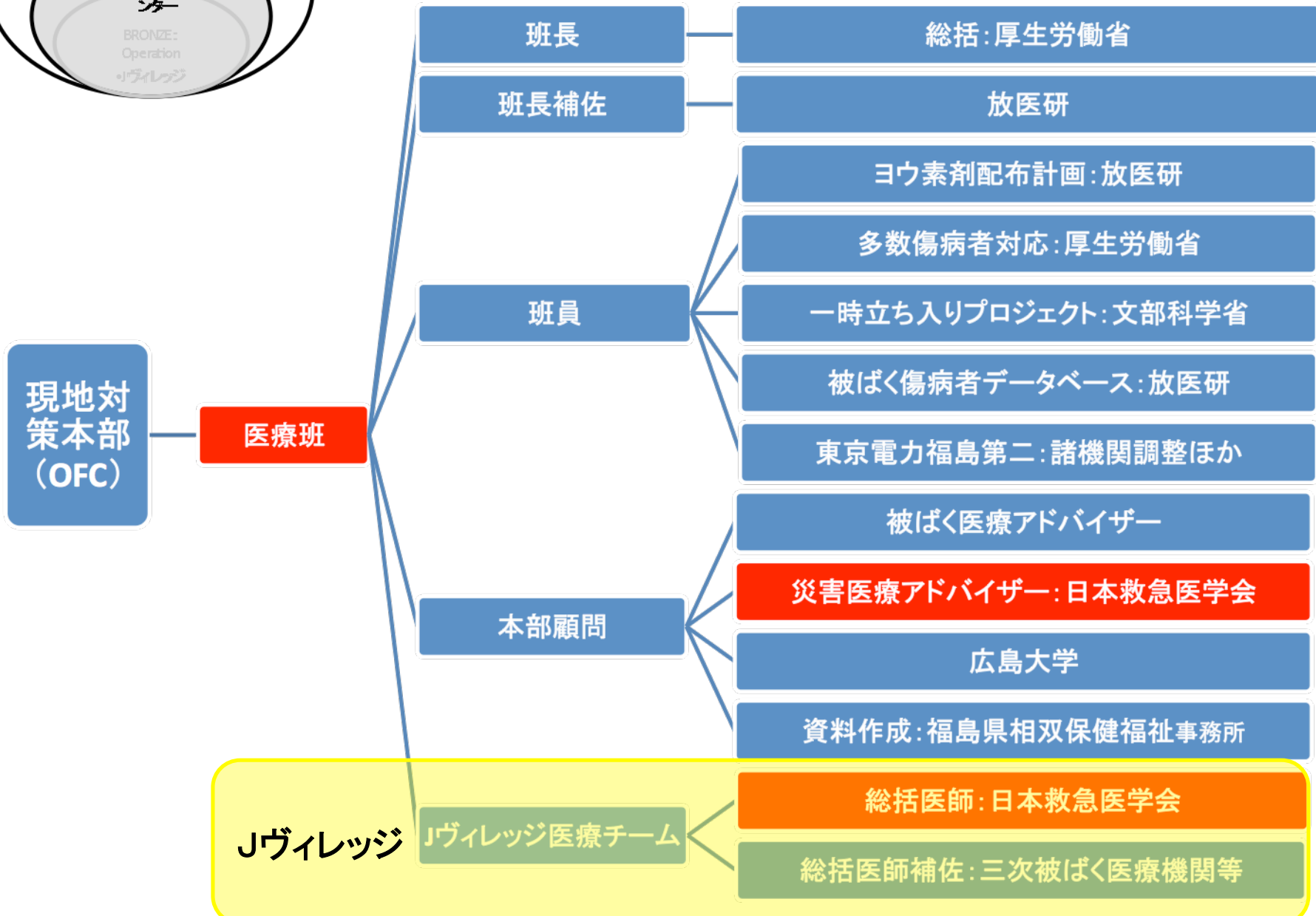


現地对策本部組織体制





現地対策本部(OFC)医療班の構成



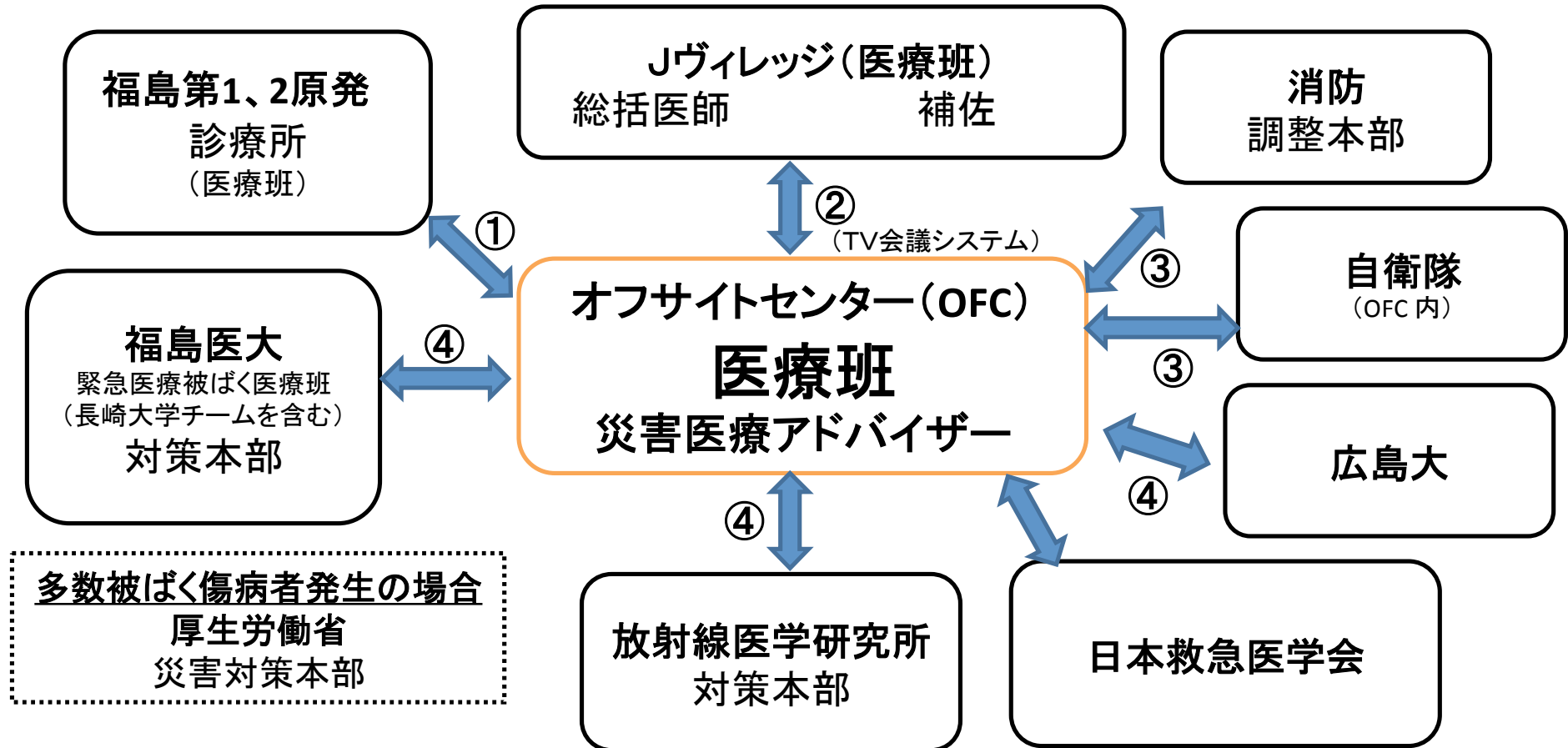
現地対策本部OFC医療班 災害医療アドバイザー

- 調整能力、協調性およびリーダーシップに優れた災害医療専門家の医師が担当する
- 福島第一原発において汚染・傷病者が発生した場合に、迅速に情報を収集し、現場との密な連携の下、トリアージ、応急処置の結果を踏まえて搬送方法、搬送先を決める
- 汚染・傷病者発生を想定した対応プランの実効性を担保するため、訓練やシミュレーションを通して、適宜修正作業にあたる
- 「一時立ち入り」の際の線量スクリーニング作業に関する助言を行う

被ばく傷病者発生時にOFC医療班が行う 関係機関との連絡・調整について

オフサイトセンター医療班が実施すべき調整事項

- ① 搬送の必要性のある傷病者の数、状態等を整理
- ② 情報の共有、医師等の応援の調整
- ③ 搬送方法の調整
- ④ 搬送先の調整



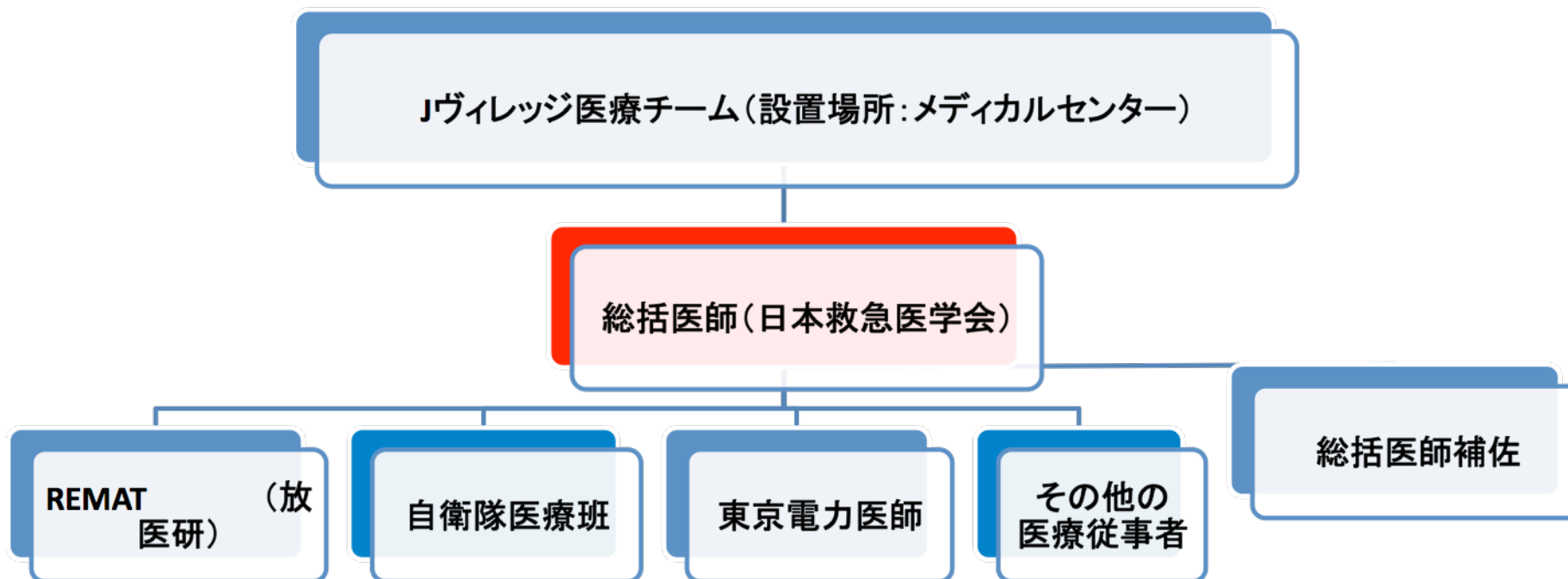


J-Vレヅ医療チーム

- 総括医師（日本救急医学会）
- 総括医師補佐（三次被ばく医療機関等）
- 自衛隊医務官
- 東京電力医師
- その他の医療従事者



Jヴィレッジ医療体制



Jヴィレッジ医療チーム

総括医師

- 救急・災害医療のスペシャリストであると同時に、被ばく医療に関する十分な見識をもつ医師が担当する
- 福島第一原発において汚染・傷病者が発生した場合、所属や職種を問わずすべての医療者と連携をとりながらその対応の統括を図る
- 現地対策本部(OFC)と密に連携をとりながらトリージ・応急処置・搬送にリーダーシップを持って対応する
- Jヴィレッジ全体の医療状況について定期的に把握し、課題を抽出する
- 不測の事態に対して自身ならびにチーム全体の安全を保持しながら統括を図る

派遣体制

- 調整
 - 現地対策本部長から学会代表理事宛への要請による
 - 福島原発事故緊急ワーキンググループの現地対策本部班長とビレッジ班長が調整
- 派遣
 - 現地対策本部長から所属機関長宛への要請による
 - 所属機関からの公務出張として無報酬で出勤
 - 5月3日までの交通費・宿泊費等は学会負担(約150万円)
 - 5月4日以降の経費は、公費負担(傷害保険料を含む)
 - その他、専用携帯電話、モバイルルーター等学会負担

派遣実績

- 災害医療アドバイザー
 - 4月4日から
6月28日現在、延べ28名派遣
- Jヴィレッジ総括医師
 - 3月18日から4月2日まで
東京消防庁・総務省消防庁の依頼により派遣
 - 4月3日から
6月28日現在、延べ29名派遣